



### 本校の AED 設置場所

- ・体育館1階出入り口
- ・事務室玄関前
- ・専攻科棟玄関前



暑かった夏も過ぎ、過ごしやすい季節になりました。朝夕と日中の気温差が激しいので、衣服等で調整し体調を崩さないようにしましょう。今月は体育大会、文化祭と行事が盛りだくさんです。みなさんの生き生きした姿をみるのが楽しみです。

## 受診結果について (9月7日現在)

1 学期の健康診断の結果、受診勧告書をもって病院に行った生徒の割合(受診率)をだしました!

### 歯科

1 年: 9.7% 2 年: 9.3% 3 年: 15.9%

### 眼科

1 年: 33.3% 2 年: 11.1% 3 年: 28.6%

### 耳鼻科

1 年: 8.9% 2 年: 25.9% 3 年: 16.7%

### 視力

1 年: 26.6% 2 年: 37.5% 3 年: 44.4%

3 年生の視力が 44% で一番受診率は高いですが、歯科の受診率は全学年とも明らかに低いです!! むし歯の治療に行きましょう。

また、「歯肉の病気」で受診勧告書もらった人も、むし歯がないからと放っておくのではなく受診にいきましょう。むし歯は本校でも全国的にも予防の効果で減少傾向にあります。歯周病は高校生以降成人期での重要な健康課題になっています。歯周病は、歯肉を中心に病気が起きている歯肉炎と支える骨(歯槽骨)に及ぶ歯周炎があります。歯肉のはれや出血(歯肉炎)が進行すると歯槽骨が壊れて(歯周炎)、最終的には歯を失うこともあります!歯が喪失する最大の原因が歯周病といわれています!

「これからも、ずっと、自分の歯でおいしく食べられるように」まずは治療しましょう。そして歯磨きを習慣にして予防しましょう!



## ヘルペスウィルスって知ってますか

ヘルペスウィルスは「一度感染すると症状が治っても体内に潜伏感染する」という特徴をもつウィルスです。何らかの理由で宿主の免疫力が低下すると再活性化し、細胞内で増殖して再び症状が現れます。特に口の周りに疱疹ができる口唇ヘルペスが有名です。発症した場合は(1)早期に治療して症状を悪化させないこと(2)人にうつさないこと(3)再発を予防していくことが重要です。早期治療には特効薬である抗ヘルペス薬での治療が有効ですから、すぐに皮膚科を受診しましょう。

## 起立性調節障害(OD)ってどんなもの?

- 血圧低下や頻脈を認める自律神経疾患です。
- 症状には、立ちくらみ、寝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛、失神などがあります。
- メカニズムは、通常、起立時に頭部などの上半身と下半身に血流の不均衡が生じますが、自律神経が機能してバランスを整えます。しかし、自律神経が発達段階でそのコントロールがうまくいかないと OD の一因になると考えられています。
- 対処法は水分補給、塩分を多めに摂る、長い時間立ち続けない、ゆっくり立ち上がるなどがあります。

自分ももしかしたら…と思った人は保護者や身近な人、保健室、医療機関に相談してください。





